

情報と行動 が命を救う



東日本大震災からの教訓を活かす

令和元年5月から南海トラフ地震に関する新たな情報の提供が始まりました。シンポジウムでは、南海トラフ地震臨時情報、緊急地震速報、津波警報、長周期地震動に関する情報などの活用を紹介するとともに、南海トラフ地震や今年で10年目になる東日本大震災を振り返りながら、防災に関する取組など命を守るための地域防災をテーマに議論します。

三重県

三重県総合文化センター
文化会館中ホール
三重県津市一身田上津部田 1234

2021 3月6日(土) SAT

12時00分開場
13時00分～16時00分(予定)

事前申し込み
参加無料
定員300人



お申し込み・お問い合わせ先
津地方気象台
TEL:059-228-6818 FAX:059-246-8484
ntsypmo@met.kishou.go.jp
お申し込みはメールまたはFAXで受け付けています。

南海トラフ地震 地域一防災・減災 シンポジウム MIE 2021

手話通訳あり



第一部 基調講演

「南海トラフ地震から命を守る」

鈴木 英敬 三重県知事

村井 嘉浩 宮城県知事 (Web 会談)

中村 雅基 気象庁地震火山部地震火山技術・調査課長

第二部 パネルディスカッション

「情報と行動が命を救う」

コーディネーター | 川口 淳 三重大学大学院工学研究科准教授 博士 (工学)

パネリスト | 日沖 正人 / 小松 雅和 / 後藤 喜男 / 横田 崇 / 新谷 琴江 / 塩津 安政

展示 同時開催イベント 東日本大震災から10年(予定)

同日、会場内外で「東日本大震災10年を振り返る」、

「緊急地震速報利用者協議会による緊急地震速報端末」、

「津波フラッグ、長周期地震動に関する情報」の展示等を開催しております。

新型コロナウイルス感染症対策について

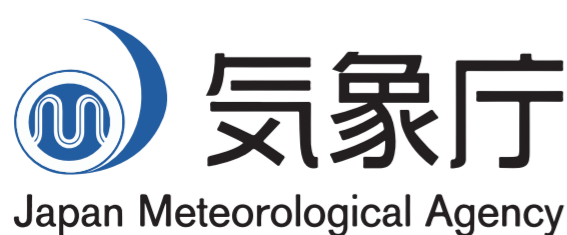
※発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。 ※当日は検温にご協力ください。お時間に余裕を持ってご来場ください。

※会場内で感染が疑われるような参加者が出た場合、募集時に提供いただいた電話番号等を行政機関・保健所の指導のもとに提供する必要がありますのであらかじめご了承ください。

新型コロナウイルスの影響により、シンポジウムの実施内容や実施方法が変更になる可能性があります。変更した場合は随時お知らせしますので、気象庁シンポジウム特設ページ

(https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nreq/nreq_symposium.html)、もしくは津地方気象台までお問い合わせください。

シンポジウムは新型コロナウイルス感染症対策を取って行いますが、一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症予防にご協力をお願いいたします。



Japan Meteorological Agency

主催：気象庁、津地方気象台、内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁、三重県、(一財)気象業務支援センター、緊急地震速報利用者協議会

後援：津市、三重県・三重大学 みえ防災・減災センター、NHK 津放送局、三重テレビ放送、中日新聞社、伊勢新聞社、地球ウォッチャーズー気象友の会ー

お問い合わせ先：津地方気象台 TEL:059-228-6818 (平日 9:00-17:00) 申し込み先：ntsypmo@met.kishou.go.jp FAX:059-246-8484

南海トラフ地震 想定震源域

南海トラフ